



カラフト伯父さん

映画でも活躍する劇作家・鄭義信が「阪神大震災」をテーマに書き下ろした感動作品です。2005年に吉祥寺シアターのこけら落としで上演され好評を博し、今回再演することになりました。

出演者に、TV、映画、舞台で大活躍中の人気若手俳優・岡田義徳。個性・実力ともに定評のある女優・富樫真。劇団東京乾電池」で柄本明とともに怪優の異名をとるベンガルといふ異色の顔ぶれが揃います。稽古を始めた出演者の声と、制作プロダクションのスタッフの稽古場レポートをお届けします。

好評発売中!

日時:2/17(土)18:00開演

会場:市立劇場・大ホール

全席指定:3,000円

作・演出:鄭義信

出演:岡田義徳、富樫真、ベンガル



Yoshinori Okada

初演時の感想をお願いします。

大変でした。今もですが。

共演者について

まとまりがない様で、まとまりがあつて楽しい。

俳優をやっている良いこと、また、大変なことは何ですか。

良いこと・・・何ですかね？もう少ししたらわかるかもです。

大変なこと・・・どんな仕事もそうですが、全て。

稽古中の印象に残るエピソードを教えてください。

前回の稽古では、ベンガルさんが夜8時になるとスイッチが切れていたのが、今回はなんと6時に！なんて・・・ベンガルさんにはいつも笑いをもらっています。

富樫さんには、笑いの神が宿っていますが。

TV、映画、舞台と幅広く活躍されていますが、舞台の良さは何ですか。

全てにおいて共通して言えることですが、皆で一つの作品を作るといふこと。

新潟の皆さんに一言お願いします。

良い作品です。ぜひ観に来てください。



Bengal

台本を初めて読んだときの感想

愛と憎しみの両局面がうまく表現されていると思いました。

共演者について

バランスの悪さが、結果的に劇的なアンサンブルを生み出しました。

鄭義信さんについて

「役者」としても上手い人。

演出は細部に渡ってとことんねばる人。

おかげで素晴らしい仕上がりになりました。

演技をするうえで、気をつけていることはありますか。

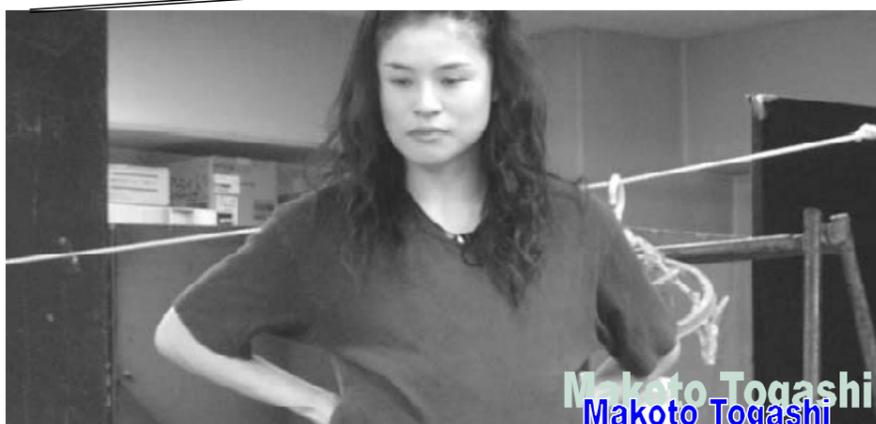
相手の芝居を気をつけて見るようにしています。

公演の見どころ

地震でどうにもならなくなった親子が、ラストに向けて・・・。

新潟の皆さんに一言お願いします。

ご一緒に劇的な時間を過ごせることを、幸せに思います。



Makoto Togashi

富樫さんの役どころと見どころ

ベンガルさん演じる「悟郎」の恋人で、元ストリッパーの妊婦「仁美」役です。

見どころは、もの凄く明るくて、元気なところかな。

共演者について

最高です！

女優になろうと思ったきっかけは何ですか。

小学4年生のときに見た、劇団四季の「キッツ」に大感動して。

女優になり、良いこと、大変なことは何ですか。

良いこと・・・お客様のあったかい拍手と声援に、生きている幸せを感じます。

大変なこと・・・沢山ありますが、女優でいられるのなら、全てを「撃せなこと」に変えちゃいます。

新潟の皆さんに一言お願いします。

芝居を見に来てくださることに、感謝です！

【スタッフの稽古場レポート】

錦糸町のビルの一室で、昨年末から稽古を行っている「カラフト伯父さん」。

役者は3人ともAB型で、我関せずといったクールな一面を見せつつ、普通のお嬢ちゃんといった感じの岡田さん、天然ボケの富樫さん、計算されたギャグを飛ばすベンガルさんで、絶妙なアンサンブルを作り上げています。

再演ということで、さらに良いものに仕上げるため、ストーリーは、おわかりやすい(細部にまでこだわっています。鄭さんは自分を、「東洋一すごい演出家」と言っていて、そのとおり、再演にも関わらず、毎日同じところを「これでもか」というくらい稽古しています。それに応える役者は苦労していますが、その分、お客様には素晴らしい舞台をお届けできることでしょう。

「阪神大震災」をテーマにしていますが、気持ちが重くなるような内容ではなく、大いに笑えて、最後はしみじみ泣けます。

ぜひ騙されたと思って見に来てください。



好評発売中!

*アフタヌーンコンサート

バレンタインコンサート

プレス ビー クインテット Bless B Quintet

～愛のうた～

バレンタインデーにちなんで、「愛」をテーマにチェンバロの伴奏やアカペラで演奏します。また、出演者と観客の全員合唱も予定しています。寒い季節だからこそ、音楽で心身ともに温まらしましょう

プログラム

主よ、どうかわたしたちの罪を	ファラント
美しいフィリス	ファーマー
アメイジング グレイス	イギリス民謡
さくら横町	中田喜直

…などなど、どこかで聞き覚えのある曲目を中心に約20曲の演奏を予定しています。



日時：2/2 (金) 14:00開演

会場：リリックホール・コンサートホール

全席自由：1,000円

出演：ヴォーカルアンサンブル / Bless B Quintet(プレス・ビー・クインテット)
チェンバロ / 崎川晶子

【出演者からのメッセージ】

長岡の皆様、お久しぶりです！昨春「花」のうたをお聴き頂いたアンサンブルBBQ、今回は様々な「愛」のうたを歌います。

愛が実って産休を頂くことになったソプラノ鈴木美紀子を除く4人編成によるアンサンブルと各々の独唱、チェンバロ独奏や皆様と歌うコーナーなど、一緒に楽しいひとときを過ごせたらと願っています。男性3名と女性1名の編成で、男性陣に1人高い音域を歌う「カウンターテナー」を含んでいます。

ヨーロッパの古い教会音楽、宮廷音楽、庶民が楽しんだ世俗曲、日本のうたの中に「神の慈愛」、「恋」、「家族愛」、「故郷を愛するところ」などバレンタインデーも間近に、様々な愛の心模様を感じて頂ければ幸いです。

好評発売中!

長岡リリックホール開館10周年記念事業
市民企画公募型事業

シンフォニック・アンサンブル・リリック with SAWA QUARTET コンサート

アンサンブルリリック(弦楽アンサンブル受講生)のコンサートを、管楽器との共演でお贈りします。

春の訪れと共に、管弦楽のハーモニーをご堪能ください。



練習風景

日時：3/18 (日) 14:00開演

会場：リリックホール・コンサートホール

全席自由：2,000円

指揮：澤和樹(澤クワルテット)

出演：シンフォニック・アンサンブル・リリック(弦楽アンサンブル講習会受講生)
澤クワルテット(大関博明、市坪俊彦、林俊昭)

ピアノ：蓼沼恵美子

曲目：モーツァルト/交響曲第1番 変ホ長調 K.16

シューマン/ピアノ協奏曲イ短調 作品54

モーツァルト/交響曲第40番 ト短調 K.550

企画提案：アンサンブル・リリック10周年実行委員会

Noism ダンス ワークショップ

小学校1年生～
3年生のための



「ゆーとぴあ」の専属ダンスカンパニー Noismのメンバーとして、舞台上で活躍しているダンサーに、ダンスを習ってみませんか。

みんなで楽しもう!

日時：3/4 (日) 13:00～15:00

会場：リリックホール・第1スタジオ

講師：佐藤菜美 (Noismダンサー)

対象：小学校1年生～3年生

参加費：500円(保険料含む)

定員：30名(応募者多数の場合は抽選)

申し込み締切：2/15(木) 必着

申し込み方法：所定の申込書に記入し郵送、
FAX、持参のいずれかの方法で、
リリックホールにご提出ください。



2月10日(土)発売

平原綾香 Concert Tour 2007 そら



中越地震からの復興を応援し、長岡まつり大花火大会で「Jupiter」(ジュピター)を歌って大きな感動を呼んだ平原綾香。荘厳な低音から美しく響く高音まで、あらゆる年代の心を動かす彼女の歌声をぜひ生でお聴きください!

『そらは、人のこころによく似ています。』

そらの色、雲のかたち、くもり空、雨、雷、雪。

よく考えてみるとすべての人の心情に当てはめる事が出来ます。

また、私が今見ているそらは、遠くの国のひとが見ているそらとまったく一緒なんです。

これってとっても素敵なことです。でも、当たり前だからこそ忘れがちになる。

みんな同じ空でつながっています。』

平原綾香

日時：4/19 (木) 19:00開演

会場：市立劇場・大ホール

全席指定：6,000円

チケット一般発売日：2/10 (土) 9:00開始

市立劇場とリリックホールの窓口のみで販売します。

2/11 (日)以降は、チケットが残っている場合、電話予約もできます。

枚数制限：1回につき1人4枚まで

主催：(財)長岡市芸術文化振興財団

企画/制作：D. M. A. M / TO... PROJECT

後援：ドリーミュージック

協力：サンライズプロモーション北陸

リリック友の会優先予約

優先予約期間：2/7 (水) 10:00～2/8 (木) 17:00

予約受付：市立劇場とリリックホールで電話予約のみ

枚数制限：個人会員2枚、ペア会員4枚

規定枚数に達し次第締め切ります。

その他発売中の公演

発売	日時	公演名 出演者 内容	会場	料金
残りわずかです!	2/4(日) 18:00開演	大黒摩季 MAKI OHGURO Live Bomb!! Lev " " ミリオンヒットを立て続けに記録した、大黒摩季のベストコンサートです。	市立劇場 大ホール	全席指定 6,500円

第5回リリックホール コーラスフェスティバル



12/3(日)
リリックホール・コンサートホール

ジュニア・リリック・ コンサート2006

12/17(日)
リリックホール・コンサートホール

公演当日、雪にも関わらず、約700の方が来場しました。参加者は、27団体(延べ500人以上)が出演し大変盛り上がりしました。プログラムの最後には、全員合唱をし、ステージと客席が一体となり感動的なフィナーレを飾りました。出演者やスタッフの皆さんの熱い思いと、会場の皆さんの温かい拍手で、5回目に相応しい素晴らしいフェスティバルになりました。

参加団体の感想を紹介します



全体合唱のステージの様子

【五月の風】

もっとコーラス好きの人が増えて欲しいと思い参加しました。1年ぶりに会えたほかの団体の方々とお話が出来たり、歌を聴くことが出来てよかったです。また、たくさん出演者が順調に移動し、無事に終えることが出来たのは、スタッフの皆様のご尽力によるものだったと思います。ありがとうございました。

【SMAS】

定期演奏会を開かない私たちにとって、良い発表の機会であるので参加しました。(このコーラスフェスティバルがあるので練習しているとも言えます!)こんな素晴らしいホールで、しかもわずかな参加費で演奏できるのは嬉しい限りです。私たちの演奏自体には多くの課題がありますが、お客さんたくさん入り、大勢の方の前で発表できたことを嬉しく思います。

【越のコーラス】

昨年に引き続き、出演させていただきました。1年間の総決算として、みんな楽しく歌わせていただきました。皆様の練習の成果をお聴きして色々勉強させていただきました。今回演奏した「バラバラで一緒」は、もう一息だったと思いました。最後に子ども達とともに歌い上げた全員合唱は大変感動しました。

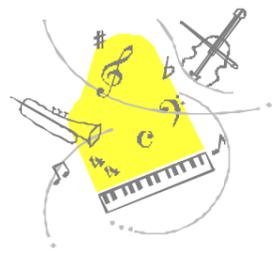


会場全体の様子

長岡市内で音楽を学ぶ子供たちの祭典「ジュニア・リリック・コンサート」は、普段の練習の成果を、本物のコンサートホールで発表する場です。

若い演奏家たちの腕前は素晴らしいもので、その爽やかで力強い演奏は、来場されたお客様に感動を与えていました。

また、今回は開館10周年記念として、過去にコンサートに出演したOB・OGの出演もあり、素晴らしい演奏で公演を華やかに彩っていました。



出演者の感想を紹介します

遠藤菜夏 (小2)

わたしは、はじめてリリック・コンサートに出ました。コンサートでは、ソナチネと小さな黒人をひきました。ほんばんまではとてもきんちょうしましたが、ステージに出たらきんちょうがなくなりました。さいごまでまちがえないようにひこうがんばりました。リリック・コンサートに出ることができてよかったです。



清水咲子 (コンサートのOG)

私は、今年OGとして出演させていただきました。

演奏までの時間の使い方、演奏後の課題など、このコンサートで学んだことは沢山あります。

舞台袖のドアが開き、ステージを歩くときの緊張や不安は、何度経験してもなくなりませんが、演奏後の達成感は何物にも代え難いものがあります。この達成感を、これからも沢山の方に味わって頂けるジュニア・リリック・コンサートであってほしいと願っています。

メッセンジャーシリーズ

第18回 ☺ ボイスくん ☺

抜粋したアンケートと、担当者の声をお届けします。



11/23(木・祝)開催 六代目柳家小さん 全国襲名披露公演

<来場者数:809人 アンケート回答者数:427人>

- ・長岡では本物の落語を聞く機会がほとんどなく、今日の公演を楽しみにしていました。期待以上に楽しく徐々に腹の底から笑えました。(40代女性)
- ・笑う角には福来る。思いで作りこみ、また友達との会話に笑いを取り入れるネタ探しのために来ました。テレビ等でも見ますが、実演はやはり最高です。たくさんの観客と一緒に笑うことはとても楽しかったです。(60代女性)
- ・日々仕事に追われ、なんとなく毎日が過ぎていましたが、今日公演を聞いて笑えることは幸せだと感じました。落語をきくことはあまりありませんが、今日来ることが出来てよかったです。ありがとうございました。(20代女性)
- ・落語がとても好きなので、今回の興行は嬉しかった。特に先代小さん師匠のファンだったので喜びもひとおしです。これからも「落語会」を上演してください。(50代女性)
- ・久しぶりに腹の底から笑うことが出来ました(特に馬風さん)。口上を観るのは初めてで、感激しました。小さんさんが素晴らしいかったです。(60代男性)
- ・落語の世界も新しいネタを取り入れ、古典と組み合わせるなどしていて、違ったジャンルを楽しみました。涙を流して笑ったのは地震以来初めてです。命の洗濯をさせていただき、明日からの力になりました。(60代)

落語界の大名跡である「柳家小さん」の貴重な襲名披露に加え、テレビ等でお馴染みの豪華なゲストによる贅沢な公演でした。昔ながらの芸風と現代風にアレンジされた内容に、会場内は常に笑いに包まれ、お客様は元気をもらったと、大満足の様子でした。(担当Y)

12/12(火)開催 鼓童 十二月公演

<来場者数:1,431人 アンケート回答者数:479人>

- ・いつも迫力がありますが、市立劇場で大太鼓2台や宮太鼓5台は、ど迫力でした。(30代男性/長岡市内)
- ・初めて鼓童の演奏を聴き、本当に心の高鳴りと感動の連続でした。(20代女性/長岡市内)
- ・太鼓一つでこんなにすばらしい表現ができるのかと驚くばかりです。魂が揺さぶられました。(30代女性/長岡市以外の中越地方)
- ・太鼓の音が私の体の中に響き、とてもここの良い時間を過ごすことができました。鼓童さんの一生懸命な、そして楽しそうな演奏にパワーを沢山いただきました。(20代女性/東京都)
- ・テレビの番組で見ましたが、やはり「生」がいいです。また来ていただきたい!!! (50代女性)
- ・何度観てもすばらしい。日本にこんなにすばらしい音楽がある事を誇りに思います。(50代女性)
- ・太鼓はあまり興味のない私でしたが、日本古来の音の美しさを心よ味わわせて頂きました。来て本当によかったです。(50代女性)

和太鼓を中心とした日本の伝統的な音楽芸能に様々なアレンジを加え、世界各地で高い評価を得ている「鼓童」のコンサートを開催しました。

太鼓の迫力ある音と振動、そして演奏者の熱気が場内を包み、観衆を圧倒していました。観衆と一緒に掛け声をかける楽しい演目や、公演が進むにつれてどんどん盛り上がり、演出もあり、鼓童の公演によって、「日本の伝統芸能」「男らしさ」「真剣さ」「迫力」「優美」「一体感」「楽しさ」など、様々なことに観衆が感銘を受けていました。

終演後には、鼓童メンバーが観衆のお見送りをし、ホールから劇場出口まで興奮覚めやらぬ状態で帰ることを惜しむ観衆でいっぱいになっていました。(担当T)

